



宮崎 匠 議員

恩納村文化情報センターにおけるOA機器の導入によるネットワーク環境及びデジタル環境の整備について

質 同センターにおけるOA機器の導入等によるネットワーク環境及びデジタル環境の整備について伺う。

答 社会教育課長（長浜 健一）

現在、文化情報センターにはフリーWii-Fiを設置していて、インターネットを利用することができます。また図書館には調べものに活用するため、iPadを3台用意し、館内貸出しを行っています。

本村におけるペーパーレス化の取り組みについて

質 本村におけるペーパーレス化の

取り組みについて伺う。

答 総務課長（山城 雅人）

ペーパーレス化については、紙の使用量を減らすことに限らず、保管庫の省スペース化なども図られることから業務効率の向上にもつながるものとして積極的に取り組んでいます。

質 今後の本議会のペーパーレス化について伺う。

答 総務課長（山城 雅人）

令和5年度から議員1名に1台のタブレット型ノートパソコンの整備に係る予算を計上しており、総務課においてもペーパーレス化の導入によりお互い連携しながら取り組み、その活用を広げていけたらと考えています。

本村独自の事業者への物価高支援対策について

質 村独自の事業者への物価高支援対策について伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

県においては、物価高騰の影響が長引いていることから、今後の支援策を予定している状況と聞いています。本村としても、今後の国、県の支援策の動向を鑑みて検討してまいりたいと思います。

提 県による「おきなわ物価高対策支援金事業」はハードルが高過ぎて、本村においては効果的な支援とは言えない現状です。改めて長引く物価高に対する継続的な支援を多くの村内事業者が求めていることを再度認識していただき、商工会と連携をより密にしながら効果的な支援策の検討をいただきたいと思います。

沖縄電力の値上げに対する村民をはじめとする村内事業者への対応及び支援について

質 沖縄電力では4月から値上げが発表されています。この現状を踏まえ、本村においての対策や支援等について伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

村としましては、今後の国、県の支援策の動向を鑑みて検討してまいりたいと考えています。

不登校児童生徒に対する本村の対応について

質 本村が把握している不登校児童

生徒数について伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

学校における不登校児童生徒数ですが、令和5年1月末現在、小学校7名、中学校6名です。

質 実際に村民から子供が学校に行かなくて困っているという相談が寄せられていて、不登校児童生徒に対する効果的な支援の充実が求められています。本村における不登校児童生徒に対する対応について伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

登校支援、登校後の別室での学習対応、またスクールソーシャルワーカー（SSW）などとの相談へ繋げることもあります。

提 独自で村内の各教育機関へのヒアリング調査を行いました。その中で学習支援員が不足しているという学校が何校もあり、早急な人員配置をお願いしたいとの声がありました。また現在、村内の小学校に配置しているSSWが現状、1人で2校のかけ持ちをしている状況なので、各校1人ずつ、計4人の配置をお願いしたいとの要望もありました。今後の増員のほうをぜひ検討いただければと思います。



安里 周作 議員

児童生徒のマスク着用について

質 コロナ感染症分類2類から5類へ移行についての認識を伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

新型コロナウイルス陽性が確認されたとしても、入院措置や外出自粛などは求められなくなります。行政、医療機関等の対応は、季節性インフルエンザと同様の対応が可能になるかと考えています。

質 マスク着用の弊害について認識を伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

マスク着用が社会的に求められた中、短期間に行動変容を求められることへの抵抗やマスクを外すことへの不安を感じる方もいると思います。

質 登下校及び校内でマスクを外す必要があると考えるが当局の対応を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

屋外では原則マスクの着用は不要で、屋内においても人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合のマスク着用は行わないでよいとしている。体育の授業及び運動部活動においては、マスクを外すように学校に指導しています。

提 教育委員会から率先してマスクを外すよう指導を積極的に行っているだけだと思います。



水産業に対する支援について

質 漁協からの冷凍庫整備の要請が上がっています。対応を伺う。

答 農林水産課長（宮平 寛）

糸もづくに関しては、生産できる量

が年によってバラつきがでる現状があります。もづく保管施設を強化することで生産量を調整することなく、安定的な供給が継続することができるところから、新年度に冷凍庫整備に関する補助を予定している。

質 南恩納船溜場の水路しゅんせつについて伺う。

答 農林水産課長（宮平 寛）

南恩納船溜場は漁業者も多く利用する施設ですが、航路の一部が浅くなり、出入り時に潮待ちをすることも増加していると聞いています。令和5年度は航路の深浅測量を行い、今後しゅんせつ実施を考えています。

農業の振興について

質 予算書の農村振興計画策定委託業務は農業振興策定ということか。又策定の構成はどういうメンバーで考えているのか伺う。

答 農林水産課長（宮平 寛）

新たな計画に向けて新年度予算に委託費を計上しています。

メンバーは、農家の代表、農業系アドバイザー、生産団体、学識経験者も含めてあらゆるメンバーを募った上で、将来的な振興計画に結びつけていけたらと考えています。

質 有機農業の取り組みについて考えを伺う。

答 農林水産課長（宮平 寛）

環境に配慮した農業振興は重要と考えており来年度策定する農業振興計画で有機農業の取り組みというところで取り扱っていければと考えています。

がん検診について

質 けんしんガイドブック保存版で令和5年度からがん検診間隔及び対策年齢が2年に1回、40歳以上が50歳以上になっています。毎年受けられる仕組みづくりを考えていただけたらと思うが、対応を伺う。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

昨年からがん検診におきましては特定検診のオプションで実施しているところを個別でも受診できるようになっています。無料で実施できるようになっており、受診件数は大幅に増えています。より多くの人が受けられるよう今後努力したい。

